

大阪市立大学「金融機関論」の講義に講師を派遣

～ 地域活性化事業の事例等を紹介・解説 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪府中央区、理事長 高橋知史）は7月2日（金）、大阪市立大学（本部 大阪府住吉区、学長 荒川哲男）商学部で開講されている「金融機関論」に、信金中央金庫（本店 東京都中央区、理事長 柴田弘之、以下：信金中金）とともに講師を派遣し、地域活性化事業など当金庫の支援施策について取り組み事例等を紹介、解説しました。

当日は、地域金融・協同組織金融機関をテーマとした講義が行われ、信金中金職員が信用金庫の理念・役割等を解説しました。続いて、当金庫職員が、各種イベントの実施等を通じて地元商店街の活性化、にぎわい創出を支援する「地域活性化事業（商店街PLUS事業）」について、商店街の抱える課題や本事業の成り立ち、具体的な取り組みを紹介しました。

当金庫はこれまでも大阪市立大学と連携し、経営者向けのセミナーを15年間実施してきました。また、地元大学での寄付講座や中学生の職業体験学習の受け入れなど、教育活動を通じた地域貢献活動を行ってきました。今後も大学等との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材育成に貢献してまいります。

記

1. 日 時：令和3年7月2日（金）10時50分～12時30分
2. 場 所：大阪市立大学杉本キャンパス（大阪府住吉区杉本3-3-138）
3. 科目名：金融機関論（担当教員：商学部・経営学研究科准教授 北野友士）
4. 当日の講義内容
 - （1）協同組織金融機関の理念・役割など（講師：信金中金職員）
 - （2）当金庫の地域活性化事業の事例紹介など（講師：当金庫企業支援部職員）
5. 受講生：大阪市立大学の学生 42名



当金庫職員による講義の様子

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

